

仙台市におけるスクール・ミッション及びスクール・ポリシーの策定状況、
高等学校等の特色化・魅力化に向けた取組等について

仙台市教育局学校教育部
高校教育課

仙台市教育委員会では、令和3年3月31日付2文科初第2124号 文部科学省初等中等教育局長通知を受け、市立高等学校等に対して、新しい時代の高等学校教育の実現に向けた「三つの方針」（スクール・ポリシー）の策定について指示するとともに、教育委員会としてスクール・ミッションの策定に取り組んでいる。

1 スクール・ポリシー策定に関するスケジュール

- 令和3年5月 第1回仙台市立高等学校校長会で説明【高校教育課長】
- 6月 スクール・ポリシーの策定に係る通知発出
令和5年度公立高校入試「求める生徒像」作成に係る通知発出
令和4年度入学生に係る教育課程表の提出
- 8月 宮城県教育課程研究集会（各教科の観点別評価を各校へ令達する）
- 10月 スクール・ポリシー仮提出【市立高等学校等→仙台市教委】
- 令和4年2月 スクール・ポリシー本提出【市立高等学校等→仙台市教委】
- 3月 公表

現在は10月末に各校から仮提出された各校のスクール・ポリシーの内容を確認している段階であり、令和4年3月のスクール・ポリシー公表後、スクール・ミッションの再定義を行う予定である。

2 スクール・ポリシー策定に係る留意事項（各校に指示したもの）【詳細は資料1参照】

スクール・ポリシー策定に係り、以下の点に留意の上、様式を作成すること。

- 各設置者は、三つの方針を策定する前提として、いわゆる「スクール・ミッション」を適切に再定義することが望まれています。今回、スクール・ポリシーはスクール・ミッションの再定義に先行して策定するものとします。そのため、「仙台市教育構想2021」「施策 魅力ある高校教育の推進」の取組方針（冊子35ページ）、各高等学校の校訓、歴史や伝統、設立の経緯、現在地域等で果たしている役割等を踏まえて策定すること。（令和3年3月31日付2文科初第2124号「文部科学省初等中等教育局長通知」の別添7「学校教育法施行規則等の一部改正に関するQ&A」の「2 高等学校における三つの方針の策定・公表について」を参照）。
- 「課程」「学科」毎に策定すること。

- 学校長がリーダーシップを発揮しながら、全教職員が当時者意識を持って参画し、組織的かつ主体的に策定すること。
- グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーは令和4年度入学生を想定し、策定すること。さらに、アドミッション・ポリシーは令和5年度高校入試における「求める生徒像」を踏まえて策定すること。
- 仙台青陵中等教育学校においては、前期課程を通してのアドミッション・ポリシーを含む3つのポリシーを策定することも可能であること。
- 「仙台市教育構想2021」「施策 魅力ある高校教育の推進」の取組方針（冊子35ページ）や現在各校で定めている「校訓」「学校教育目標」「学校運営方針」「歴史的な伝統」「現在地域等で果たしている役割」等を確認し、できるだけ分かりやすい表現で記載すること。

3 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る「求める生徒像」について

宮城県公立高等学校入学者選抜は、宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・石巻市教育委員会の三者で実施しており、全ての公立高等学校が共通で「求める生徒像・選抜方法」を学科ごとにA4判1枚にまとめて公表している。今回のスクール・ミッションの策定に合わせ、令和3年6月には、令和5年度入学者選抜用の「求める生徒像」の見直しを指示し、各校で検討するアドミッション・ポリシーと「求める生徒像」が一致しているか、再検討を指示している。10月末までに仮申請が行われており、現在は仮提出されたスクール・ポリシーとの整合性を確認しており、12月に学校に戻すとともに、令和4年2月に本申請を行い、令和5年度入学者選抜用の「求める生徒像」は5月下旬に公表されることになる。

4 スクール・ミッションの再定義について

仙台市が所管する市立高等学校等は、

- ・ 全日制普通科単位制高等学校（進学重視型単位制）
- ・ 工業高等学校（全日制・定時制）
- ・ 商業高等学校
- ・ 定時制普通科単位制高等学校（Ⅰ部、Ⅱ部制）
- ・ 中等教育学校（東北で唯一の公立中等教育学校）

の5校6課程しかないが、特色が異なる編成となっている。平成21年には、商業高等学校2校（男子校、女子高）を統合した新しい商業高等学校の新設、中等教育学校の新設、全日制普通科高等学校の単位制導入などの大規模な学校再編を行っており、平成27年にはこの大規模な再編に関する検証を行っていることから、このことを土台に、各校のスクール・ミッションの再定義の作業を進めているところである。現在各校で進めている、スクール・ポリシーの策定に合わせて、教育委員会としても「各高等学校等の存在意義」「期待される社会的役割」「目指すべき高等学校像」を分かりやすく示していきたい。

【作成についての留意事項】

◎仙台市立〇〇高等学校が取り組んでいることや目指すもの

※公開が令和4年3月のため、極力、次年度に向けて以下の点を考慮して記入すること。

- 仙台市教育構想 2021 施策 魅力ある高校教育の推進 取組方針 (P35) と例年、提出される学校経営計画表がベースとなるが、「校訓」「学校教育目標」や「学校運営方針」、「グランドデザイン」を参考に作成すること。
「校訓」は言葉としては普遍的なものであるが、教職員一人一人が内容をしっかりと理解していることが必要である。
- また、「学校教育目標」は、例年、大きな変更もなく、さらに、文言が抽象的で勤務する教職員で共有されにくい。さらに「重点目標」や「年度目標」等については、主に管理職が中心に作成したものを、年度初めの職員会議で確認する程度で、全国的にも「職員の共通理解」を図る場面がなく、画餅化している学校も散見されるとの文科省からの指摘もあるので留意すること。
- 令和4年度に向けて「学校教育目標」をはじめとする「重点目標」、「グランドデザイン」をどのようにするかを教職員がワークショップ等を通じて、学校が目指す方向性を確認することもできる。(カリキュラム・マネジメントの視点)
- それが将来的に再定義されるスクール・ビジョンの基礎に繋がるとものとなり得る。
- 学校は「学校教育目標（重点目標等）を実現すること」を目指しているのであって、教職員個人の願いの実現を目指しているものではない。
したがって、学校教育目標（重点目標）に照らし合わせて、教職員一人一人がやりたいことを応援できる学校の雰囲気を作ることが大切である。
- 仙台工業高等学校は「課程」毎に策定すること。（「学科」毎の記載は必要なし）

◎「3つのポリシー」は今後、入学を検討する中学生、保護者が参考資料として活用することを想定すること。

◎ 仙台青陵中等学校は後期課程のみの「3 アドミッション・ポリシー」を除いた2つのポリシーの策定が義務付けられているが、3を含めた前期課程を通しての3つのポリシーを策定することも可能であること。

「3つのポリシーの記載例」◎グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

- 幅広い知識と高い学力、課題解決に向けた探究力・実践力を身に付け、グローバルな視野をもって主体的に社会の未来を切り拓く力と心豊かな人間性を備えた次世代社会創生リーダーを育成します。
- 自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する意欲や能力、夢や理想の実現に向かってチャレンジする精神や態度、自然との共生を考えることのできる人材、社会の担い手としての望ましい勤労観・職業観のある人材を育成する。

◎カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

- 時代とともに変化するビジネス社会のなかで活躍できる実践力と問題解決能力を育成します。進路の希望や興味・関心などに応じて専門分野の学習を深めます。
生徒一人一人の進路希望に応じたきめ細かい進路指導を実施します。幅広い分野の資格を取得してビジネススキルの向上を図ります。
- 「電気科」例
電気，電子に関する専門教科を，教室で行う座学だけではなく実習等の実技をとおして実践的・体験的に学びます。また，専門教科の学習や実習をとおして，高度な技術や技能を身につけ，たくさんの資格取得にも挑戦していきます。
- 多様な価値観をもつ人との出会いの中で，異なる立場や考え方に触れる体験の機会を多く設定します。学ぶこと（理論）と行動すること（実践）のバランスを重視した学びを提供します。

◎アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

- 多様な価値観に触れることで視野を広げ，自分の特性についての理解を深めたい生徒
- 自分の特性にあった進路実現を目指したい生徒
- 将来，自分が属する地域を支えていこうと考えている生徒
- 自らの可能性に向かって自分としっかり向き合い，物事に真剣に取り組む生徒
- 商業に関して興味・関心があり，入学後も目的意識と熱意を持って学習や部活動等に積極的に取り組む意欲のある生徒
- 中学校時代に不登校だったが，高校入学を機会に自分を変えたいと思う生徒

仙台市立〇〇高等学校〔〇〇制課程（〇〇科）〕のスクール・ポリシー例

◎仙台市立〇〇高等学校が取り組んでいることや目指すもの（例）

取組方針（仙台市教育構想 2021 より）

生徒の学力向上と進学目標の達成に向け、学年に応じた進学重視型単位制のカリキュラムの充実を図り、少人数による普通科教育を展開します。

校 訓：誠 実

学校教育目標：1 様々な体験を通して社会に貢献できる人間の育成
2 専門分野の高度化に対応できるスペシャリストの育成
3 的確な判断力と課題を解決する能力を備えた人材の育成

重点目標：個に応じたきめ細かな教育活動や地域社会での勤労を通じて、伝統校に学ぶ者の誇りや、自主自立の精神を持ち、社会に必要とされる人材を育成するため、職員一丸となって取り組む。

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）（例）

- 生涯にわたり主体的に学び続け、積極的に社会参画する人間力を育成します。
 - 産業界であらたな社会を創造するための技術力・実践力を育成します。
 - 社会の課題を自ら発見する力と課題解決のための科学的な思考力や探求心を育成します。
- <人間力>誠実な取組，他者との協働・調和・礼節
<技術力>社会に貢献できる専門性，他の分野を融合させる柔軟性
<実践力>自ら考え，それを表現・実行し，結果を踏まえて改善する力

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）（例）

- 普通教科と専門教科の両方を重視します。
→普通教科では社会で生きる基礎力を，専門教科では確実な技術力を養います。
- 教科横断的な学びや地域と協働した学びにより，探求的な学びを進めます。
→地域社会が抱える諸課題について教科横断的に取り組み，〇〇町の抱える課題を自ら設定し，その解決策を模索します。
- 習熟度別の授業や多様な選択科目を設定し，個に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施するとともに，多岐にわたる生徒の進路希望を実現する多様な選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）（例）

- 本校で学ぶ理由が明確で，日々の授業や課外活動に自律的に取り組む生徒
- インターンシップ等の体験活動やボランティア活動に積極的に取り組むなど，地域社会に貢献できる生徒
- ▲▲に対する興味関心が高く，専門的知識や技能の習得や資格取得に積極的な生徒
- 好奇心や探求心が旺盛で，能動的に探究活動に取り組む生徒
- 中学校時代に部活動や校外の諸活動で優れた能力を発揮し，入学後も継続して活動する意欲がある生徒